

2023年8月26日(土)開催 公益財団法人 三浦財団 第5回奨学生交流会 感想

23. 10. 17(火) 事務局 晴山史郎

	氏名	大学:学年	学部	志望の職業	交流会参加の感想
1	女性	弘前大学 1年	医学部 医学科	脳神経 外科医	<p>会の初めは、自分の意見発表のことで緊張感が抜けませんでした。次第に会場の空気感に馴染むことができました。やはり、対面での交流会はいいなと感じました。来年以降も、対面開催が続いていけばいいなと思います。</p> <p>自分の意見発表については、伝えたいことをがちゃんと伝わる構成や言葉選びがまだまだだったと振り返っています。原稿を見ずとも分かりやすく、気持ちのこもったスピーチができるようになりたいと思います。</p> <p>出身や大学、サークルなどが自分と共通している先輩や同期が、奨学生の中に予想以上にいてとても嬉しかったです。このご縁を大切にしていきたいと強く思いました。先輩激励や八戸市長との意見交換、昼食会での交流は、社会でたくさんの経験を積まれてきた先輩方とお話できる、本当に貴重な時間でした。これからもこのような時間を設けていただくと、とても嬉しいです！</p> <p>今日から、病院実習が3週間にかけて行われます。自分の目で医療現場の中から学びや課題を見つけて、これからの学習とスキルアップに繋げていきたいです。また、近況報告の連絡をします！</p>
2	男性	東北大学 1年	工学部電気 情報物理 工学科	システム エンジニア	<p>先で行われた奨学生交流会は非常に有意義かつ楽しい時間を過ごさせていただき、ほんとうにありがとうございます。最後の晴山さんのお話から率直な感想が欲しいとのことで、実際に参加してみて感じたことをお話ししたいと思います。講演について、途中参加ではありましたがどの講演も今後の大学生活をイメージしていくうえで非常に有用なものばかりであったと思います。</p> <p>食事会について一番勉強になったと感じたのは、各テーブルに理事や監事の方が同席され、人生の大先輩として様々な話を聞くことができたことです。実際に私のテーブルでは監事の方の人生の軸などを聞くことができ、非常に勉強になったと感じました。</p> <p>最後にフリートークキングについて、こちらは時間いっぱい交流することができ、また、普段は関わる機会がめったにない社会人の方とも交流することができ、非常に有意義なものだったと感じました。欲を言えば、もう30分ほど長く交流できればなと思いました。</p> <p>今回の交流会を通してボランティア活動、特に教育系のボランティアに興味を持ったので取り組んでみようと思います。本当に 楽しい時間を過ごすことができましたこと、改めて感謝申し上げます。来年以降も交流会を開催していただけると幸いです。</p>
3	女性	東北大学 1年	法学部	弁護士	<p>昨日の奨学生交流会では、非常に有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。</p> <p>特に、熊谷市長に質問をするという貴重な機会を通して、頂いたアドバイスをもとにこれからも勉学に励みたいと思いました。大学や学部、職業、年齢、経験が様々な奨学生の方々の講演を聴いたり、お話をしたりして、自分自身にとってとても良い刺激になりました。また、同じ学部の先輩がいらっしやることもわかって、心強く感じました。</p> <p>今回の交流会で得たものを生かし、大学生活をより充実させていきたいと思っています。</p>
4	男性	早稲田 大学 1年	基幹理工 学部 学系 I	数学 研究者 アクチュアリー ・教員	<p>表題の通り、昨日の奨学生交流会は私にとって大変充実した内容となり、参加できたことを大変光栄に思っております。参加させていただき本当にありがとうございました。先輩方や同年代の奨学生と話せる機会は私にとって大変貴重なもので、非常に有意義な議論を積み重ねられたと思っております。特に、文科系の学問を専攻している人のものの見方、医療に携わろうとしている方の覚悟などは普段触れることのない価値観ですので大変よい刺激となりました。自分も今後理工学、特に数学を学んでいく上で様々な視点から取り組めるようにしていきます。</p> <p>晴山様や熊谷市長、役員の皆様といった人生の先輩方からのアドバイスは、いずれも大切にして今後生きていこうと思うものばかりでした。晴山様も仰っていましたが、祇園精舎の文の通り、驕れることなく生きていきたいと思っています。</p> <p>また、皆様の前で意見を表明させていただき、たくさんのアドバイスを頂戴することができました。このような機会を設けていただいたこと、本当に感謝しております。夏季休業も丁度今日で半分に差し掛かりました。自分が今何をすべきなのかを見つめ直し、成長できる夏にしたいと思っています。また皆様とお会いした際に自分の成長を見せられるよう尽力して参ります。</p>
5	女性	東北大学 1年	文学部	新聞記者 公務員	<p>興味深い話をたくさん聞くことができ、とても刺激的な一日となりました！このような会に参加できたことをとても嬉しく思います。</p> <p>今回の交流会を通して感じたことや考えたことを今後に活かし、大学生活を送っていききたいと思っています。</p> <p>今日の午後、実家から新幹線で仙台市に戻ります。</p> <p>実家を離れるのは少し寂しいですが、引き続き自分らしく頑張っていきます！</p> <p>残りの夏休みを利用してボランティア活動に取り組んでみたいと考えています。</p>

6	女性	東北大学 2年	経済学部	経営コン サルタント	<p>本当に楽しい交流会になりました！！今日、印象に残ったことは、マンチェスターへの留学のお話です。自分とは異次元の世界で活動している方の話はずっと面白く、自分も海外に行ってみたい！と思わせてくれる内容でした。海外にいる理由もはっきりしているし、自分の中でやりたいこと、やらなければいけないことをしっかりと突き詰めて考えている人なんだと感じました。</p> <p>あとは、単純にフリースペースがとて楽しかったです。色々な人の考え方、どんなことをやってみたい、さっき言わなかったけど実はこういうことをやってるんだ、という感じのことを話され、話が盛り上がりすぎて時間が足りないくらいでした。</p> <p>最後に今日感じたことは、晴山さんの人柄の良さです。交流会に行っても緊張していた私にも声をかけてくださり、私以外にもまめに声をかけている様子を見て、将来はこんな人になりたいと思いました。交流会でも言った通り、私は「人と人を繋ぐ」ことが好きです。繋がった人同士が仲良くなり、お互い協力体制を築くことができるようになる過程を見ると、私がおのれの一部に関わられたのだと嬉しくなるからです。人は人に頼って生きていくものだと思います。「人と人を繋ぐ」ためには、晴山さんのように人に慕われ、人に頼られる人でなければいけません。そのための手段として人のために行動できる人になりたいと思っています。自分にできることをやっていきたいと思っています。本日は本当に楽しい時間をありがとうございました！！来年もまた開催されることを非常に楽しみにしています。</p> <p>⇒ たまたま自分の名前が出てきましたが、僕はそんなにまともな人間ではございません。ただ「人と人を繋ぐ」の記述が良いので採用させて頂きました。(事務局)</p>
7	女性	お茶の水 女子大学 2年	理学部 数学科	数学教員 or研究者	<p>まずはお忙しい中、素晴らしい交流会を開催して頂き、誠にありがとうございました。新型コロナウイルスの影響でこれまで対面で直接ご挨拶することができておりませんでしたので、今回は参加することができ、とても嬉しく思います。</p> <p>私はN・Mさんのお話がとても心に残っております。教員の仕事内容や環境の辛さはあるものの、教師の仕事に誇りを持っているから続けられるとお話されていました。私自身、教員の道を考えてはいるものの、マイナスな面を考慮して100%は決めきれずにおります。しかし、誇りを持って教師を勤めているN・Mさんの姿には心を打たれてしまいました。教師に限らず、私も誇りを持てる 職業を選択したいと思っています。</p> <p>また、多くの方のお話を聞いて、判断力や行動力をさらに向上、発揮していきたいと強く感じました。晴山様も最後におっしゃっていましたが、大学生の今のうちに興味を持ったことは何でも迷わず挑戦してみれば、きっと得るものは大きいのだと思います。実際に行動を起こしている方も多くいらっしゃるし、とても刺激を受けました。今後も財団の皆様の皆様のご支援のおかげで好きな学問をのびのびと学べることへの感謝を忘れず、一瞬一瞬を大切に行動して参ります。</p>
8	女性	弘前大学 2年	教育学部 養護教諭	養護教諭	<p>去年所用により残念ながら参加できなかったのですが、今年初めて参加させていただきました。フリースペースや情報交換会では自分が専門とする分野外の方たちや、自分が専門とする分野の先輩や後輩と話すことで新しい考えに触れることができました。また、マンチェスターでの留学体験についてのお話では、留学はとてハードルが高いイメージを持っていたのですが、留学、日本を離れて海外で生活することから得られるものの多さを知りました。留学してみたいなと初めて感じました。</p>
9	女性	岩手大学 2年	食料生産 環境学科	循環型 農業を 目指す 企業	<p>奨学生の皆さんの近況報告や留学報告などを通して、年齢が近い方々から学びに対する刺激を多くいただきました。また、八戸市長に質問をする機会を頂き、自分だけでは解決する方法が分からなかったものが納得できたり、新しい見方を頂いたり嬉しかったです。</p> <p>私はどうしても不安要素を完全に克服したいという気持ちから、自分に自信を持ってないことが多いのですが、市長のお言葉で自分に自信を持つことが大事なことだったので、自分に自信を持つように頑張りたいと思います。</p> <p>フリースペースでは、沢山の奨学生とお話したかったのですが、意外と体感時間が短く、お話できなかった方が多かったです。就職活動や学生生活についてアドバイスを頂いたり、提案したり楽しかったです。普段の生活の中では、体験できない刺激を沢山頂いて、来てよかったと感じました。</p> <p>最後に、私の拙いヴァイオリン演奏を聴いてくださった皆様には本当に感謝しております。夏休み期間の最後には子ども達にヴァイオリンを教えにベトナムに2週間ボランティアに行ってきます。これに関連して、ボランティアの捉え方について聞くことができ、タイムリーな内容で自分でもボランティアについて改めて考える機会になりました。物事に対する考え方は様々だけれど、自分のプラスの経験値になるものであれば、チャレンジしてもいいのではないかと考えることができました。大学生しかできない時間の使い方の中で、有意義なものになるように努力したいと思います。</p>

10	女性	岩手大学 2年	教育学部 教員養成 課程	小学校 教員	<p>コロナになってしまったため先日行われた交流会に出られず大変申し訳ありませんでした。後遺症が酷く1ヶ月ほど通院しており、最近やっと通常通りの生活を送ることができております。交流会で他の大学の学生さんからのお話や、先輩方からの話を聞き、自分の今後に生かしたいと楽しみにしておりました。みなさんの感想を見て少しでも生かしたいと考えております。</p> <p>私は前期英語の勉強、教育実習のための勉強、実習を精一杯頑張りました。7月に初めてTOEICを受験し、次の12月の受験までの目標ができました。教育実習では、岩手県盛岡市の桜城小学校での実習で、2年生の子どもたちと共に学びました。3日間だけでしたが、最後は泣きそうになり、様々な思いが込み上げ、今回沢山書いたメモを自分の宝物にして、疑問に思った点、新たに学んだ点を自分の探究活動に生かしたいと強く思いました。</p> <p>夏休みまで残り少ないですが、9月後半には岩手県矢巾町の中学校でのラーニングサポートのボランティア活動や、自分で計画している姫神山の登山など様々な予定があります。なぜ姫神山に登山しようとおもったかという、生活科の授業で自然についての授業があり、岩手県に生息する植物について興味を持ったためです。どんな授業を作れるか、岩手県にはどんなに素敵な自然があるのか様々なことを考え発見できる機会にしようと考えております。もう体調は崩さず、自己管理をしっかり行い、元気に過ごしたいと思っております。</p>
11	男性	東北大学 3年	法学部	検察官	<p>K・Kさんの留学についての話や熊谷市長の話は非常に勉強になりました。</p> <p>また、他の奨学生の皆さんが熱心に活動または学習されている話を聞き、自分のモチベーションも上がりました。</p> <p>私とは違う分野に進まれる同世代の方の将来像をしっかり聞く機会はありませんので、是非今後も続けていただきたいです。</p>
12	男性	東京大学 4年	文科二類	大学教授 統計学	<p>改めて本日は企画・運営など本当にありがとうございました、そしてお疲れ様でした。</p> <p>実はこの4年間で初めて参加したのですが、とても充実したものでした。まず、自分の発表を皆さんに聞いてもらえましたし、市長にも直接ご質問させていただきましたし、他の学生とも交流することができ、このような機会をくださって感謝しております。晴山さんに発表のご指名をいただいたのも大変嬉しかったです。</p> <p>マイナスの面も言ってちょうだいとおっしゃっていたので、少し。自分が発表するときにやはりもっとリアクションや質問が欲しかったですね、ちょっとまだオープンで気楽な雰囲気ではなかったような気がします。例年は役員の方からのご講演だそうなので、そういう感じではなかったのかもしれませんが。壇上で発表していたとき、ちょっと寂しかったです。</p> <p>来年は大学院入試で忙しく、再来年は日本にいるか他の国にいるかも分からず、参加できるかは正直なところ、分かりません。ですが、3年後でも何年後になっても連絡をいただければ駆けつけますので、ぜひこのようにやり取りできればと思います。また発表をお願いされれば、もちろん喜んでお引き受けいたします。</p>
13	男性	岩手大学 4年	理工学部	音響信号 処理研究 システム エンジニア	<p>感想としては先輩方が去年よりも多く、より財団の奨学生人脈や活躍ぶりを知るいい機会になったこと、最終年でコロナ以前の交流ができたことに感謝しております。K・KくんのプレゼンやT・Sちゃんの演奏など、現役大学生の活躍も見ることができました。交流会で要望があるとすれば、ランチの時間をもう少し伸ばしてお話やお料理を楽しみたかったのが正直なところ。女性陣が頑張ってお話しているなかで会話しているものか、お食事と会話のバランスに少し気を遣いました。</p> <p>今回お役に立てたのは22年生のT・Nさんのボランティアの質問でしょうか。晴山さんはじめ役員、奨学生の皆さんも興味深い眼差しで聞いてくれていたようで、一人でも多く励みになる言葉を伝えられたらと思っておりました。</p> <p>医学部や理系の学生さんが多かったようで、より哲学的な質問や今後の人生のプランニングに関する質問コーナーとなると、やはり卒業生の社会人、現役博士課程大学院生などの言葉の重みは参考になると感じました。日記に自分らしい言葉を今からまとめておきたいと思えます、数年後20年度生の先輩がすごいと言われるように。</p> <p>交流会の帰りに、八戸駅までE・SくんとS・Rくん、T・Iさんとお土産を買って夕御飯にカレーライスを食べ、新幹線の時間まで暇を潰しました。(もともと認識もありましたし仲も良かったのですが、)交流会が対面でもっと早く仲良くなっておけば、、、 コロナの時代と世代がより短期間での結び付きを強めたある種の縁だと思っております。来年は大学院生も就活インターン、就職するみなさんも一年目で忙しいとは思いますが、日程決まりましたら是非お知らせください。</p> <p>さて、締切ギリギリに感想メールを送信となりました。弁明というかですね、交流会のあと、実は大学の研究室の実験で月曜まで缶詰め、仕上げた翌日に同じ研究室の友人と東京武道館へ向かい、Adoのライブを見に行き、本日新幹線に乗っているところですがクラシックのコンサートやオペラ、劇団はよく見ますしファンでしたが、アーティストのライブは人生で初めての体験でした。Adoの第一声から23曲ぶっ通しで目が離せませんでした。人を惹き付ける魅力を自分も磨いていかなければ。</p>

14	男性	岩手大学 4年	理工学部	高分子 化合物 研究	先日行われた、交流会ですが、本当に有意義な時間を過ごせたと思います。最初の方はすごく緊張していたのですが、時間が進んで他のみんなの自己紹介や意見など聞いていくうちにどんどん楽しくなっていました。最後のフリートークも非常に楽しく 過ごせました。交流会を通して、時間があっという間に過ぎ去ってもう少しこの交流会を続けたいなどと思いました。いろんな人の話を聞ける機会はそうそうないですし、自分の考えや意見を言う機会も珍しかったので本当にいい経験になりました。また、ランチも非常に美味しく頂きました。
15	男性	岩手大学 4年	人文社会 科学	仙台出入 国 在留 管理局 就職決定	自分には持っていない経験や知見を持つ方と意見交換をする貴重な機会となり、参加してよかったです。フリートーキングの時間では、興味のある方に話しかけに行くことができ、仲間を増やすことができました。ちょうどいい時間の長さでした。特に、同期の20年奨学生とも久しぶりに交流することができ、大学院進学や就職など節目のタイミングになりますが、それぞれの道を歩んでいて、自分にとって大変励みになりました。意見交換などの場面で、自分と同じように「文系で民間企業や公務員に就職された方・する予定の方」が少なかったのが、少しだけ寂しく感じました。 また、三浦財団様の日々の支援のおかげで、大学の学修に励むことができ、さらに国家一般職試験にも最終合格することができました。ありがとうございました。来年度からは仙台出入国在留管理局さんに就職をする予定です。しばらくは仙台で働くことになると思いますが、また八戸でこのような交流会の機会があれば参加したいです。本当にありがとうございました。
16	女性	弘前大学 6年生	医学部	研修医とし て実務中	昨日の交流会は奨学生の先輩・後輩と対面で楽しく情報交換ができました。ランチも豪華でとても美味しかったです。この会を全て準備し、司会進行まで務めるのはすごく大変なことだと思います。本当に感謝です。ありがとうございました。 今回は、先輩方が6名もいらっやったことが驚きでした。三浦財団の奨学生だった先輩方が卒業後どのように働いているのか・大学生に伝えたいことを聞いたことがとてもためになりました。特に、N・Mさんのお話は分かりやすく、①興味を持ったことに挑戦 ②本を読む ③遊ぶこと(一人旅) を私も大学生生活残り少ないですが実践しようと思いました。 財団の他の奨学生とお話して、年齢関係なく、皆さんもちろん学業もすごいですが、人間的にも尊敬できるひとが沢山いて、学ぶことが多いと感じました。自分も刺激を受けてまた明日から頑張ろうという活力を得ました。事務局からのお話では、晴山さんの、細切れの時間を大切にという言葉が印象的で、昨日から意識して頑張っています。 最後にあつた入学一時金のお話ですが、すごくいい制度だと思います。一年生はやはり入学時の3月4月でとてもお金が必要になるので、5月6月7月が苦しくなるかと思います。 最後に、晴山さんもK・K先生(元八高校長)もお元気そうで、若くて生き生きしていてパワーをもらいました。嬉しかったです。本当にこのような貴重な会を毎年開いてくださりありがとうございます。ゆっくり休んでくださいね。
17	女性	東北大学 21年卒業	教育学部	盛岡 市役所	私が大学に入学した頃よりも、奨学生の仲間がとても増えていて、この奨学金を通じてたくさんの方と出会っていることをとても嬉しく感じました。また、後輩の皆さんの自己紹介も個性豊かで、それぞれ素敵な目標を持って頑張っているお話を聞いて、私も頑張ろうと思えた1日でした。 改めて、大学卒業後もこのような機会にお招きいただき、本当にありがとうございました。 財団の皆さんや支えてくれる周りの人に恩返しができるように、これからも頑張ります。 奨学生の後輩の皆さんもずっと応援していますので、何か力になれることがあれば協力させてください。
18	女性	弘前大学 21年卒業	医学部 保健学科 放射線	盛岡病院	名残惜しくも途中退席となってしまいましたが普段は交流がないような学部やお仕事をされている皆さんの話を聞く機会をいただいて、とても充実した1日でした。数名の方々が話す津軽弁に懐かしさを感じたり弘前大学の放射線の後輩とお話ができたり、なんだか青森が恋しくなりました。 数名から質問をする形式で八戸市長のお話が聞けたことや、映像を交えて留学の様子を知れたこともとても印象深かったです。そして何より奨学生の皆さんがお話をするのがとても上手で、人を惹きつけるような表現力があるので非常に良い刺激になりました。 そして… パークホテルのランチが美味しくて、あっという間に食べてしまいました。 また機会があれば皆さんと交流して、たくさんの素敵なお話を吸収したいなと思います。

19	男性	東北大学 21年卒業	文学部 人文社会 学科	大学院	<p>先日の交流会では、晴山様に久しぶりにお会いできたとともに現在の奨学生の皆様とも交流ができ、自分にとっても勉強になった時間でした。非常に貴重なお時間をいただきありがとうございました。</p> <p><良かった点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学生の皆様がバラエティ豊かになっているのを感じることができました。前回対面で参加したときからたった数年とっておりましたがその数年の間に多くの奨学生の方々が生まれ、活躍している様子を見ることに私にとっても刺激になりました。 ・全体の交流と個別の交流のどちらにおいても、皆さんの学問的興味や ボランティアなど力を入れていることを詳しく伺うことができました。私自身が博士課程の学生として研究していることもあり、何を研究してみたいのかということに強く関心をもっています。三浦財団の奨学生の皆様の知的好奇心や活発さを知る良い機会になりました。 ・八戸市長をはじめとしたいわゆる「大人」の方々とも交流する機会を持つことができたことも、特に現役の奨学生の皆様にとって貴重だったのでは 思います。私は、大学院で研究をする傍ら、東北大学スタートアップ事業化センターというところでインターンをしていたこともあり、社会人の方とお会いする機会が格段に増えました。一方で学部時代を振り返ると、就職活動以外の場面で社会人と関わる機会はそれほどなかったように思います。特に、奨学生の方が関心のある分野の方にいらしていただいたこともあり 情報交換もより有意義なものになったのではないかと思います。 <p><今後に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・席順に関して、今回卒業生から順に前から座るというスタイルでしたが、現役の奨学生の皆様が前に座るというスタイルでもよいのでは、と思いました。後ろに行けば行くほど、全体での発言がしにくくなるのでは思ったので、後ろにいても発言をする私たちのような卒業生たちが後ろの方でも良いのかなと考えました。 ・今回、一人ひとりにテーブル席が用意され開放感のある会場で素晴らしいと思った一方、移動に数秒かかったり(これは発表者の事前準備で対応できることではあります)、スライドや演奏の発表の時に後ろの方がもしかすると見にくくなったりするのではないかと思います。おそらく、コロナウイルスへの配慮であったり、参加人数が増えている(嬉しい限りです)ことが会場設定の基準となったと思いますが、1テーブル2人掛けのような状態だと、もしかすると全体的な見やすさや発表のスムーズさもさらに良くなるのではないかと思います。 <p>改めて、今回奨学生の皆様と交流する機会を下さり本当にありがとうございました。どのような形であれ、今後も奨学生の皆様や三浦財団の皆様に貢献できるようにできる範囲で活動していきたいと考えております。</p>
20	男性	弘前大学 20年卒業	教育学部	養護学校 教諭	<p>交流会に参加させていただき、誠にありがとうございました。晴山さんや同期と直接会い、また、後輩と話す機会も得られ、大変嬉しく思いました。少しでもお役に立てたならよいのですが…。自分の未熟さに気づき、財団の奨学生として恥じないよう励み続けていこうと気を引き締め直す機会になりました。ぜひ、次回以降も可能な限り参加させていただきたいと思っております。</p>
21	男性	弘前大学 20年卒業	医学部	研修医として 実務中	<p>奨学生の皆様の勉強はもちろんのこと、ボランティア活動に積極的に参加されている方が多く、驚きました。行動力溢れる皆さんから沢山の刺激を受け、有意義な時間を過ごすことができました。また、フリートークの際には、大学生の皆様との交流を通して、日々の仕事に忙殺され、忘れていた自分なりの初心を思い出すことができました。</p> <p>改善点としましては、東京含む関東からの交通費が出ないことで、金銭面での交流会参加のハードルが高くなっていると話を伺いました。大学生の講演の場を設け、(今回のマンチェスター)大学留学経験のように)講演者には交通費の援助があればより参加人数の確保に繋がるのかなと個人的に思いました。</p> <p>晴山さんにも久しぶりにお会いできてうれしかったです。今後とも交流会の開催と参加を希望いたします。</p>
22	男性	国立大学 法人 岩手大学 教育学部 特命教授	公益財団 法人 三浦財団	評議員	<p>奨学生の皆さんの将来の展望を拝聴できたことは大変有意義でした。岩手県出身の学生や岩手大学の学生も数多く参加してくれていましたので、この意味でも大変有意義でした。以前にもお伝えしたかもしれませんが、釜石高校の校長先生とお目にかかる機会があり、奨学事業の案内をいただいたことをとても感謝しておりました。様々な事情があって応募していない学校もあろうかと思いますが、本当にありがたいことだと思います。</p> <p>会食の際に、隣席となった方と話す機会があり、高校に行った際に貴財団の奨学事業のことを話したことがあるかどうか尋ねたところ「ない」とのことでした。もし奨学生自身が出身高校を訪問する機会があるのなら、ぜひ貴財団の奨学事業について話してもらいたいのではないかと考えました。できることであれば、訪問機会をつくって、現在の学生生活の様子とともに奨学事業についても伝えてもらうことがあってもよいのではないかとさえ思います。</p>